



■ 1997年4月13日 サッカー生涯コース 20年前の1枚 ■

新しく入会された皆様へ

■ようこそ 浦スポへ！

毎春、100名を超える方がクラブに新しく入ってきます。年度で入れ替わられるのは幼稚園生や小学生が多いので、ご家族がすでに会員の方もいらっしゃるかもしれませんが、今年から初めてという保護者の方もいらっしゃるかと思います。少しだけ浦スポのことを紹介させていただきます。

浦スポは、1991年9月に、欧州型のスポーツクラブを目指して設立されました。今年で26年目を迎えます。

Jリーグ創設を前に、将来はJに入る市民クラブをサッカー一処の浦和で立ち上げようと思われたクラブです。設立準備中に、Jリーグ入りを目指してホームを探していた三菱（重工業）サッカー部が浦和に来ることとなったこともあり、浦和スポーツクラブは、生涯スポーツに力点を置く活動に移行していきました。

■スポーツクラブって・・・

日本では、「総合型地域スポーツクラブ」と呼ばれ、多目的・多世代の活動が強調されていますが、地域スポーツクラブの活動の本質は、そこではないと考えます。

同じ地域に住んでいたり、同じ職場に勤めていたり、同じ飲み屋に通っていたりした仲間が、一緒にスポーツを楽しもうとグループをつくり、お金を出し合って道具や場所をそろえていき、そのうち、他の種目もやりたくなったり、家族の中で他のスポーツをやる人もいれば、他の遊びをする人も出てきて、お互いに応援したり、自分の時間を楽しんだり、時には一緒に何かをしたりと、人生を楽しむための時間と場所を確保するために、お金を出し合っ



活動し、ある程度大きくなれば、専任のスタッフを雇用したりしていった・・・のがクラブだと思います。

現在、テレビなどでしばしば目にするヨーロッパサッカーのクラブなどは、すっかり巨大化していますが、このようなクラブは一部であり、クラブ先進地の欧州においても、前述のような市民が自分たちのためにお金を出し合い運営しているクラブが数多くあります。

■会費、時間、汗、知恵を出し合って運営

1000人を超える大きさになった浦スポも、同じように会員が会費を出し合い、時間を使い、汗と知恵を出し合っ

て運営の方法を決めて活動してきたクラブです。
フィットネスジムであれば、会員＝お客様ですが、地域スポーツクラブの運営には「お客様」という考え方はなく、浦スポでは、「みんながメンバー」という考え方になります。



■目指すところ・お願いしたいこと

スポーツは、「日々の生活から離れること、すなわち、気晴らしをする、休養する、楽しむ、遊ぶこと」を意味する言葉が語源と言われています。

クラブには、年齢も、職業も、学校や会社も、立場も異なる多種多様な人たちが参加しています。そして、体力も技量も性格も異なる人たちが一緒に活動します。

この多様さが、クラブの良さです。その中で、お互いの違いを認めながら、一緒に楽しむ場所と時間を共有する仲間がいるところが、浦和スポーツクラブです。

新しく入会された方も、「〇〇を習う」とかではなく、スポーツをとおしていろいろな方との交流を楽しみ、仲間をつくってほしいと思います。楽しいと集中力が増して、上手になったり効果が増すということも言われています。

学校スポーツ施設の利用について

浦和南高校のグラウンドが人工芝に生まれ変わったことは、ご存知の方も多いことかと思えます。

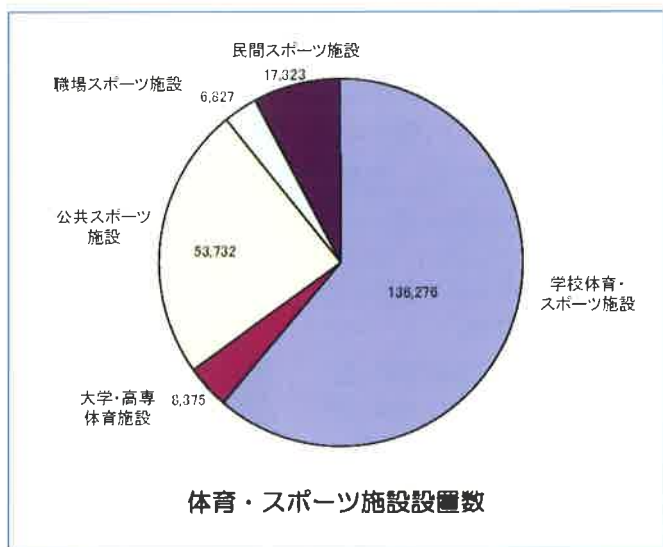
埼玉県内の公立高校では初となり、これまでは雨が降ると何日も使えなかったのが、これからは多少の雨でも利用できるのです。サッカー部の活度のみならず、体育の授業などでも助かると大きな期待を持たれています。



(写真は、浦和南高校HPから)

■国内のスポーツ施設の6割が学校にある

「体育・スポーツ施設現況調査」というものが、5～6年おきに文部科学省で行われてきました。現在は、平成20年度に行った調査結果が公表されています。



全国にスポーツ施設は222,533箇所あり、そのうち学校にあるのが138,276施設、全体の62%にあたる施設が学校にあることがわかります。これに比べて公共スポーツ施設は、わずか53,732箇所です。全体の24%しかありません。

さいたま市内をみても、多くのグラウンドなどは河川敷などにあり、車がないと平日に利用することなどはとても困難です。このため、身近なスポーツ施設として学校施設が注目を集めます。

浦スポでも、小学校4校（北浦和小・本太小・三室小・中尾小）、本太中学校、浦和高校の計6校の学校施設をお借りしています。

■学校スポーツ施設の環境向上を

このように市街地においては貴重なスポーツ施設となっている学校ですが、その環境は決して良い状態とは言えないものです。

公共のスポーツ施設を市街地の中で新設するのは費用の面でも大変なことだと思います。そこで、すでにある学校のスポーツ施設を改修し、使いやすいものとして、授業や部活で使わない時間を市民が利用しやすいようにしていくことが、市民のスポーツ環境の向上にもつながりますし、何より、生徒にとっても施設や設備が充実していくことになり、費用対効果が高い政策になるものと思います。

一方で借りる側も、教職員や生徒たちに迷惑がかけないように責任ある借り方をしていく必要があります。

むしろ、地域開放をしたことで、学校や生徒にもメリットが生じると思える。例えば、地域と学校の関係性の向上、地域指導者による部活へのサポート、設備や施設の改善などの結果につなげていければ、なお良いと思います。

■星空スポーツ広場は、このためにあります

毎週末、浦和高校をお借りしている星空スポーツ広場は、学校施設の利活用の一つの姿を試行している取り組みとも言えるものです。

開始から10年。日曜もいれると週末で概ね120～160名。年間50回として6000～8000名。

限りある施設を活用し、地域の人々がスポーツを楽しむ交流する時間を過ごすことができるか、サークル貸をする一般の開放事業と異なる誰でも参加できる場を開くことで、どのような効果があるのかが示されつつあると思います。この成果を、今後のスポーツ振興に活かしていけるようにしないと損なうですね！

お知らせ！

2017年度 年次総会

日時：6月4日（日） 15時頃～

場所：未定（浦和駅近辺を予定）

総会終了後、指導者の方にもできるだけ参加いただいで交流会を開催します。

多くの皆さんの参加をお待ちしています

詳細が決まりしだいお知らせします。

星空スポーツ広場中学部活サポートプログラム バドミントン 基礎講習会 参加者募集！

主に中学1年、中学校からバドミントンに本格的に取り組もうとしている方！

基礎を身につけて、秋から試合で活躍しよう！

日時：土曜日 19時半～21時 月3回開催

場所：浦和高校体育館

定員：12名程度（先着順）

期間：Ⅰ期 5月～7月 Ⅱ期 8月～10月

費用：3,240円/期（3か月間9回分の費用です）

詳しくは事務所もしくは星空スポーツ広場の現地で指導者にお問合せください